

COOP-JOSO News Letter

2019年11月4回号 発行/常総生協広報C

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

みんなで「JOSO食材でかんたん・うちごはん！」 2019年度「生協まつり」は、生産者・来場者が交流 を深めた楽しいおまつりになりました！



11/2（土）に開催した 2019年度常総生協まつりの総来場者数は 431名と大盛況で終わりました。今年度の生協まつり実行委員会では、JFSA（日本ファイバーリサイクル連帯協議会）、i飯館村の渡辺とみ子さん、育協会など他団体との交流企画にチャレンジしてきました。クイズラリー、生産者リレートーク、きずな巻など、生産者と交流できる企画もありました。また今回は出店生産者の皆様から、おうちで簡単にできるレシピなどの提供もあり、みんなで「かんたん・うちごはん！」を食べて・学んだと思います。

実行員形式で運営、企画を始めた生協まつりも4年目になり、準備も含めて毎年進化しています。とても中身の濃い生協まつりになりました。

※開催内容は次週NewsLetterにてお知らせします。

2019年11月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
11月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に外遊び活動しています。試食会は11/28(木)開催です。 11/13(水)商品キャラバン学習会(常総生協) 11/22(金)松永農園のレモン収穫体験&交流会(松永農園) 11/27(水)生協まつり実行委員会振り返り会	11/16(土)STOP!!東海第二原発の再稼働いばらき大集会 11/21(木)千葉県連創立70周年記念式典 コープ共済地域ささえあい助成交流会 日生協インターネット仲間づくり実践交流会

いよいよシーズンスタート！

農薬無散布・化学肥料不使用で作る「松永さんのレモン」

常総生協が、由比の松永さんからレモンを頂くようになって30年以上が経ちました。親子二代、ずっと農薬に頼らない方法で柑橘を栽培し、現在は研究室で農業を学んだ息子さんが三代目としてお父さんと一緒に柑橘づくりを実践しています。そんな松永農園を今回はご紹介します。



■古き良い“宿場”に果樹園あり！

無農薬レモンを栽培する松永さんの果樹園は、静岡県清水区由比町にあります。果樹園からは駿河湾が一望でき、温暖な海風がそよぎ、昔から柑橘栽培が盛んな地域でした。また、この地域は昔の東海道の宿場町「由比宿」。築300年近い住宅がいまだ街道に残り、宿場町の面影を残します。



■生態系をいかに邪魔しないか

松永農園さんのハウスを見ると、まず驚くのが雑草の多さ。「**ハウスの中でも15～20種類の雑草がいます**」と松永さん。でも、この雑草が重要なのです。雑草と言っても、そこに住みつく虫は多種多様です。たとえば、ヤノネカイガラムシというカメムシの一種の害虫がおり、松永さんのレモン園でも見受けられました。一般の多くは強力な農薬をかけて死滅させるところですが、松永さんは放っておきます。すぐにヤドリバチという目に見えないほどの小さいハチがそのカイガラムシに卵を産み付け孵化し、結果カイガラムシは死滅してしまうのです。また、**多様な草木が後に腐葉土となり肥沃土づくりをおこなってくれます**。肥沃な土にはたくさんの生命が宿り、循環を繰り返してくれます。こうした「**食物連鎖をいかに邪魔しないか**」が一番のポイントです。

■土が柔らかいと木が丈夫に育つ！

松永さんのレモンの木の育て方も重要なポイントで、それは根をとにかく丈夫にさせる事。**根を太らせ、四方に根を行き届けさせる為にも土の柔らかさは重要**です。確かに苗木から3～4年で収穫は可能ですが、レモンの寿命は30～40年。短的な収穫量よりも、長期的に見れば長い間レモンを収穫し続けられた方が良いです。こうして多少の害虫や環境変化に動じない、松永さん曰く「タフなレモンの木」が育つのです。



■地域が抱える問題と松永農園

「この地域では、私が一番若手になってしまった。今ではほとんどが70代、80代で…」と松永さん。昨今、柑橘栽培をはじめ農業そのものを継続すること自体が厳しい状況になっています。例年の「異常気象」による収穫の不安定さ、里山の荒廃による害獣の増殖と食害、その対策への多大な投資、大規模農業優遇制度等々、農業をめぐる問題は尽きません。



「勤めに出た方がラク」と思う農業後継者が多いのと「敢えては継がせない」先代が多いのも事実です。そんな中、松永農園三代目として若い息子さんが後継することになった事は大きな喜びです。今後も末永く、相互に支え合える関係を築いていきたいと思います。応援を宜しく願います！

＼ぜひご注文ください／

11月4回 **47** 松永さんのレモン400g

【組合員さんの口コミ】

★なんも心配のいらない特別なレモン！

無農薬のレモンは貴重！ハチミツにつけても、塩レモンにしても、紅茶に入れても、なんの心配もいらない特別なレモン。半分に切ったら果肉が盛り上がるジューシーさはレモン酎ハイでも美味しいです。

(つくば市：Mさん)



★ 無農薬でとても助かります！

松永さんの無農薬レモン、とても助かります。家では、レモンのオリーブオイル漬けと塩漬けを作っていますが、漬け込むので無農薬が安全で安心です。レモン塩、世間で最近はやりのようです。料理の幅も広がりますし、手間も省ける調味料です。

(松戸市：Iさん)

TPPとポストハーベスト問題

■レモンの歴史と現状

日本におけるレモン栽培の歴史は意外と古く1873年に熱海に来た外国人が種を庭先にまいたのが始まりと言われています。その後、和歌山、広島に伝わり、西日本や静岡の柑橘産地で多く栽培されました。ところが輸入の自由化により、安い海外産レモンが押し寄せ国産は激減。現在、国内に出回っているレモンのおよそ**9割以上が、アメリカやチリから船便で約1カ月ほどかけて日本に輸入されます。**輸送中にかびが生えたら価値が無くなってしまうので、**収穫後、船に積む前に防かび剤が使用されます。これが「ポストハーベスト」**です。レモンなどの柑橘に使われる防かび剤は、イマザリル、TBZ、アゾキシストロビンなどで、発がんのイニシエーター（きっかけ）になる恐れがあるといわれています。食品衛生法上も、これらの農薬を食品添加物扱いとし、使用した果物を販売する場合、表示が義務付けられています。

ところが、この間なし崩し的に進行しているTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の協議において米政府は、ポストハーベストの食品添加物扱い（表示義務）を貿易障壁とみなし、日本に撤廃を要求してきました。既に**2018年12月30日**に、日本を含む6カ国（日本・オーストラリア・カナダ・メキシコ・ニュージーランド・シンガポール）が国内手続きを終えたことで、発効されています。**最終的にアメリカはTPPから離脱しましたが**TPPは日本の農業を壊すだけでなく、消費者の選択権も奪う危険性も孕んでいます。

こうした情勢の動きについては、私たち消費者も注視する必要があります

12/7(土)「ハトは泣いている」上映会のお知らせ



ハトは泣いている
と 寺
——時代の肖像
2014年の「表現の自由」をめぐる二つの事件を追ったドキュメンタリー

「公平中立」って何だ？ 民主主義って何だ？
はびこる忖度(そんたく) 脅かされる表現の自由、憲法、そして平和

戦後70年余り、この国が謳歌してきた平和は既に、腐り始めているのではないかと、今、私たちは何をすべきか？ 何が出来るのか？

本編は、2014年に相次いで起きた二つの事件のほぼ1年余りを追ったドキュメンタリー。
「都美将監事件」と同時に形別作家蔵で中田久氏の立休作品に添えられた現政権に批判的文言に対し右翼からの抗議、脅かしを受け、制作が内容の違法性を要求、「九条修訂事件」を巡る市民の抗議行動が「九条守り」の女性デモの句を公平中立の場である「公民館の意見と調停される」と月曜への掲載を拒否、両事件の引き金は、改革に向かう政権の意向を先導する行政に懸念する市民不在の対応を招き、始めていく。
世評を浴びた社会党が持つ形別作家と修訂を主張する市民の運動は、それまでに先の戦争の記憶にまつた手紙をめぐり、行政の忖度にもたらす表現の自由・人権の保障、「公平中立」の論議的機能を露わにしていく。彼らの声は共に、この時代、過去をどう認識し、憲法九条と平和を守るために、私たちは何をすべきか、何が出来るかを問う。

上映作品はベルリンの国際展の招請により2か月間展示された。作品と事件に対するドイツ人の反応は「表現の自由」侵害への危機、「歴史の真実をどう認識し、伝えていくか」を問う。戦後の国の決意を鮮明にする。これと交錯するようには、開議の掲載を公民館に求め続ける市民と議員たち、彼らを支援する市民連

撮影：土城幸三、堀内真、谷本真、堀井真、ビデオ編集：新野真、音楽：T・NAMB、監：Murko
ナレーション：岡田英樹、企画・演出：松本武
制作：「ハトは泣いている」制作委員会 お問い合わせ：070-4227-1549 / 045-479-1424
予告編：YouTube「ハトは泣いている」 公式サイト：http://hato-is-crying.com/ email：l.continua@yahoo.co.jp

12/7土 AM9:30~12:00
牛久中央生涯学習センター視聴覚室 ★参加費500円
●主催：生涯学習部 ●問合せ：中村 yantoubou@gmail.com 申込不要・当日集金

2017年作品 123
企画・演出 松本武

今年の8月に勃発したあいとりエンターレ「表現の不自由展・その後」中止事件とその後の権力の横暴、決定していた助成金の交付打ち切り、などなど。今の日本は、全くありえない事態が平然とまかり通っています。このドキュメンタリー映画は2014年に起こった二つの「表現」事件を追ったフィルムです。映画が完成してから3年経ちますが、あれ？イマじゃん！っていう感じです。

松本監督の目線と執念深さが登場人物の表情に如実に映し出される、そんな秀

作です。牛久で上映会があります。ぜひおいでください。

(土浦市 Sさん)

＼紹介キャンペーン実施中／



常総生活協同組合

**お友だち紹介
キャンペーン**

10/1~11/30 期間限定

ご紹介いただいた組合員と新しくご加入いただくお友達に生産者から「キズナ商品」プレゼント！

松永さんのジャムをプレゼントしています！！

親戚や友人に「食」の大切さを知ってもらいたい・・・

組合員皆さんの「わたしのお気に入り」を伝えたいから・・・」の声を教えてください

「いつまでも健康で元気に過ごしたい」「残留農薬が心配だけど、よく分らない」

「子どもたちには安心して安全なものを食べさせたい」

そんな方に常総生協を教えてください(^^♪

※キャンペーン詳細や、紹介者情報は供給担当もしくは生協本部(0297-48-4911)までお問い合わせください。